

県内百貨店・主要小売店1月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	9.2		6.6
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	1.6	0.5	▲1.0
Vドラッグ	4.5	▲0.8	0.1
ホームセンターバロー	0.8	▲0.4	▲6.1
セリア	0.1	▲4.8	▲3.6
ヒマラヤ	9.3	9.8	▲0.4

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。Vドラッグは中部薬品など5社の合計。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計

県内に拠点を置く百貨店・主要小売店の1月上高実績（速報値、小売店は全店売上高）は、6社全てが前年同月を上回った。

岐阜高島屋は例年の形式に戻した初売りが好調で、売上高、客数ともに大きく伸ばした。福袋の販売やセールを分散化した前年の反動もあり、2日から3日間の売上高と入店客数がいずれも約3割増。初売りに合わせたセールでは衣料品の売り上げが好調だった。



1月の百貨店 全6社、前年上回る
小売店売上高

た。担当者は「月後半はオミクロン株の影響で伸びを欠いたが、初売りで数字を積み上げられた」と語った。

バローは月の後半に売り上げを伸ばした。最終週に限るとカップ麺や冷凍食品など前年同月比5〜20%増の食品もあり、担当者は「まん延防止等重点措置や、値上げ前の買いだめの影響が考えられる」と分析した。Vドラッグはカイロなど防寒用品、ホームセンターバローは防災用品の売り上げ増が寄与した。

セリアは7カ月連続で、ヒマラヤは3カ月連続で売上高が前年同月を上回った。